

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

基本事務事業名] いじめ対策事業 (401)
評価年月日] 平成12年2月1日
主担当部課名] 教育委員会事務局 学校教育課
記入課名・課長名] 学校教育課 星野 茂

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : 人権の尊重 (1-1)

施策 : 人権施策の総合推進 (1)

総合計画の目標項目 : 学校でのカウンセラーによる相談活動の実施率

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 2 学校教育の充実

2 基本事務事業を巡る環境変化 過去、現状、将来)

いじめや不登校など、子どもの心の問題が社会問題になっており、児童生徒へのカウンセリングも含めその指導の在り方が課題となっている。

また、今後、ますます人間関係の希薄化や地域の教育力の低下が予想され、児童生徒の健全な心の育成が一層の課題となる。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 何をどういう状態にしたいのか)

いじめや不登校など、子どもの心の在り方と深いかかわりがある問題に対応できる学校カウンセリング体制を構築するとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、これらの子どもの心の問題の解決に取り組む基盤を整備し、子どもの健全な心の育成を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 総合計画の目標項目には＊を付す)

指標名 : いじめ等対策事業の有効度

指標式

$$\text{指標} = \left[1 - \frac{\text{不登校児童生徒数}}{\text{全児童生徒数}} \right] \times 10,000$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

指標の増加は、本事業の成果を表す。

3-(4) 結果 施策における2010年度の目標)

- いじめや不登校など、子どもの心の問題に対応するため、カウンセラーの配置の充実及び学校と専門家によるカウンセラーの組織化などの体制を確立する。
- 各地域に住民主体のいじめ・不登校等対策推進組織を設置する、いじめ対策の検討会などを開催する、有識者等からなる「いじめ対策研究会議（仮称）」を設置する等、いじめが「人権に係る重大な問題」であることを社会全体の認識として位置づける。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度（H11年度）における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

スクールカウンセラーや心の教室相談員を県内の中学校に配置したことにより、児童生徒等にとって相談しやすい態勢となった。

②前年度に残った課題

スクールカウンセラー、心の教室相談員、市町村が配置している相談員等の連携や資質の向上を図る。

学校カウンセリングの在り方を明確にし、児童生徒、教職員、保護者等のカウンセリングに対する認識が高まるようにする。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

スクールカウンセラー、心の教室相談員等の配置により、各学校においては、児童生徒等にとって相談しやすい態勢の整備が進む。

また、相談員の資質アップ事業により、スクールカウンセラー、心の教室相談員、市町村が配置している相談員、適応指導教室等が密接に連携したことによってカウンセリングの在り方や、児童生徒、教職員、保護者等のカウンセリングに対する認識の向上がみられた。

②本年度残ると思われる課題

- ・児童生徒、教職員、保護者等のカウンセリングに対する認識を一層高める。

5 基本事務事業の改革方向

いじめや不登校など、子どもの心の問題に対応できるカウンセリング態勢を構築するとともに、広く関係者に呼びかけ、地域社会・学校・保護者が連携を重視していく。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (千円)		必要概算 コスト(千円)
	目標	実績		所要時間	時間	
前々年度 (H10年度)	10,000	9,914	3. 1%	82,594	6,936	111,587
前年度 (H11年度)	10,000	9,938	3. 8%	105,096	7,994	138,511
本年度 (H12年度)	10,000		4. 1%	125,857	5,490	148,641
本年度補正後 (H12年度)	10,000			+(or ▲) +(or ▲)		+(or ▲)
翌年度 (H13年度)	10,000	_____		165,470	8,400	200,666
計画目標年次 (H 年度)	10,000	_____		_____		_____

7 翌年度(H12年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

※ 新規事務事業には、事務事業名に 新)を付す

事務事業名 担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
心のフレッシュアップ 推進事業費 (学校教育課)	カウンセラー等による 相談活動実施率	〔スクールカウンセラー活用調査研究〕 小・中・高等学校及び市教育委員会へスクールカウンセラーを配置して、児童生徒、教職員、保護者への相談を行うとともに、スクールカウンセラーの活用状況を調査・研究する。	88,149	+ 37,833	8,100	+ 2,900
		〔相談員の資質アップ事業〕 心の教室相談員、市町村の相談員、適応指導教室等の担当者を対象に、日常的に指導・助言する。				
		〔心の教育推進地域指定事業〕 いじめや不登校などの生徒指導上の問題等への対応と、生命を尊重する心や豊かな人間性を育むために、11市町村を中心にして、総合的な施策推進の在り方を実践的に研究する。				
「こころの教室」の緊急整備事業費 (学校教育課)	生徒の悩み解消率	中学校に、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる相談員を配置して、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供する。	61,571	+ 1,780	140	+ 10
不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業費 (学校教育課)	不登校児童生徒の体験活動参加率	不登校児童生徒の学校復帰のために、適応指導教室などにおいて、継続的な活動又は様々な体験活動を通じた適応指導による学校復帰のための支援方策に係る調査研究を行う。	15,750	± 0	160	± 0